

女房なんか怖くない！

Dos borrachos se pasan de copas y a medianoche uno dice que tiene que volver a casa, porque su mujer se enoja siempre que llega tarde.

“Bah, ¿qué te importa? La llamas por teléfono y le dices que te quedas a beber hasta que te plazca”.

“No puedo”.

El amigo saca su teléfono celular.

“Te voy a enseñar cómo se hace”.

Marca y cuando atienden, dice: “Escúchame. Estoy con un amigo tomando copas. Voy a volver a casa cuando me dé la gana, así que no me esperes a dormir, boluda”.

El otro lo mira con admiración.

“Yo jamás me atrevería a hablar así a mi mujer”.

“Yo tampoco, he llamado a la tuya”, dice el amigo.

訳

飲み過ぎた酔っ払いが二人。深夜に至って一人が、帰りが遅くなると妻に怒られると言って帰ろうとする。

「何言ってるんだよ。(女房が怒ったって)それがどうした? 電話して、好きなだけ飲んでくと言っとけよ。」

「そんなことできないよ。」

友人は携帯電話を取り出し、「どうやるか見せてやるよ。」

電話をかけて相手が出たところで、「おい、聞けよ。いま友だちと酒を飲んでるんだ。帰りたいたいに帰るから、待ってなくていいぞ、お前。」

もう一人の方は驚いた様子で、「俺は女房にそんなこと言えないよ。」

「俺にもできないさ。だからお前の女房に電話をしたんだ。」

解説

1. とても平易なスペイン語ですね。スペイン語を始めたばかりの方でも、ほとんど辞書なしで読み通せると思います。「はじめに」で述べた通り、ジョークのスペイン語は、このようにとてもやさしく、わかりやすいのが特徴です。
2. なお、この話はあくまでもジョークです。どんなに酔っ払っても、友人の奥さんにその友人のフリをして電話で威張り散らすなど、控えておくのが身のためです。
3. “pasarse de copas” は、「飲み過ぎる」。“copas” は、酒を飲むためのグラスまたは酒そのもの。“ir de copas” は、「酒を飲みに行く」。
4. “Bah” は、くだけた会話でよく使われる間投詞で、相手の言ったことを半ば嘲笑する意味があります。「何を馬鹿な事言ってるんだよ」とか「あきれたこと言うなよ」のようなニュアンスです。

緊急事態の対応

— ¡Piloto a torre de control! — grita el piloto todo nervioso.

— Estoy a cinco millas de tierra y se me ha agotado el combustible. ¿Qué hago? ¡Deme instrucciones, por favor!

— ¡Torre a piloto!, ¡torre a piloto...! Repita conmigo: “Padre nuestro, que estás en los Cielos...”



訳

興奮したパイロットが叫んで、

「パイロットから管制塔へ！ 地上から5マイル地点にいますが、燃料が切れました。どうしたらいいんでしょう？ 指示をください！」

「管制塔からパイロットへ！ 管制塔からパイロットへ！ 私の言うことを繰り返してください… “天にましますわれらが父よ…”」

解説

1. 管制塔の指示は、(もう手の打ちようがなく、助かる見込みはないので)「一緒にお祈りをしましょう」でした。なるほど、適切な指示なのかもしれません。人間、最後に頼れるのは宗教なのでしょう。
2. “Repita conmigo” は、誰かの言うことを他の人たちが復唱する際に使われる表現。少々古い言葉ですが、ちょうど日本語の「ご唱和ください」に似てますね。
3. “Padre nuestro, que estás en los Cielos …” は、ご存じの通り、食事に先立つお祈りなどで神に祈りを捧げる時の言葉です。